

Kimono Making 和裁

一針一針、日本の伝統の技で美を仕立てる

和裁技能を身につければ、特別な設備投資の必要もなく、自宅で独立しての仕事も可能です。最近の傾向として、成人式や卒業式などの特別な日にだけ着物を着るようですが、「浴衣」のように、普段着感覚で着ることにより、個性的なおしゃれが楽しめます。日本の伝統衣装でもある着物を、いま、あなたらしく装ってみませんか。

競技概要

競技は「女子用あわせ長着（色無地）」を縫製し、その技能を競います。一反の着物地（約12メートル）を裁断し、しるし付けまでを事前に自宅で行い、競技会場では2日間で仕立て上げます。色無地は、紋の有無や数によって、フォーマルにもおしゃれにも着られる用途の広い着物です。あわせ長着とは裏地のついた着物のことを言います。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ！

〔所属：（株）東亜 東亜和裁 名古屋支部〕

長谷川 彩華さん

挑戦できることがあれば、前向きに挑戦してほしいと思います！



Point

表地と裏地を合わせるところがポイントです。厚さや伸びの違う2種類の生地を微妙な釣り合いで縫い合わせなければならず、各選手の技能差が最も出る部分です。また、一針一針手縫いのため、全体の縫い目がまっすぐで、仕上がりの美しさも要求されます。コテ光り、焼けこげ、しみ等は大きな減点となります。